

日本周産期・新生児医学会
専門医制度

認定外科医申請要領

2026年5月

一般社団法人
日本周産期・新生児医学会

目次

2026 年度日本周産期・新生児医学会 認定外科医申請 告示	2
〈申請書類記載上の注意〉	2
■全般的注意事項	2
■申請書別注意事項	2
1. 日本周産期・新生児医学会 認定外科医申請書	2
2. 症例要約の総括	2
3. 症例要約もしくは日本小児外科学会指導医認定証のコピー	2
4. 指導医推薦状	3
5. 取得単位集計表	3
6. 学術集会参加記録簿	3
7. 学術論文刊行記録簿	4
【参考】申請時の学術業績	4
【書類の送付先・問合せ先】	4
【その他参考資料】	5
1. 症例要約記載例	5
2. 学術集会参加記録簿の記入例	7
3. 学術集会やシンポジウムの参加単位証明について	8
4. 会員登録の変更_マイページからの変更手順①	9
5. 会員登録の変更_マイページからの変更手順②	10
6. WORDを使用した申請書作成時 「ヘッダーの入力方法」について	10

2026 年度日本周産期・新生児医学会 認定外科医申請 告示

https://www.jspnm.jp/modules/notice/index.php?content_id=231

〈申請書類記載上の注意〉

■全般的注意事項

1. 認定施設とは本学会が専門医制度によって認定する基幹施設と指定施設である。学会ホームページの以下の URL で施設名・施設番号(アルファベット 2 桁+数字 5 桁), 指導医を確認できる。

【新生児】

施設: <https://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

指導医: <https://www.jspnm.com/Senmoni/ShidoiS.aspx>

【母体・胎児】

施設: <https://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuB.aspx>

指導医: <https://www.jspnm.com/Senmoni/ShidoiB.aspx>

2. 年月日はすべて西暦表記とする。
3. 各種連絡に使用するので、必ず使用できる E-mail を記載する。施設を異動した際は、会員ログイン後のマイページあるいは「会員登録の変更」内の「変更オンライン登録」から、勤務先・E-mail 等を登録する(p9・10 参照。Jspnm.org のドメインについて受信許可設定も必要)。

■申請書別注意事項

1. 日本周産期・新生児医学会 認定外科医申請書

- (1) 必ずヘッダーに申請者の **会員番号を記載** する。
- (2) 小児外科や心臓血管外科のようにサブスペシャリティ領域の場合、外科専門医取得のみでは申請資格を満たさず、サブスペシャリティ領域の専門医資格を取得していること(外科専門医では申請できない)。
- (3) 略歴は卒業大学と入会年月から現在まで、最大 8 項目を最新のものを優先して記載する。
- (4) 認定証は、会員情報に登録されている「送付先」に送付する。申請書提出後に異動した場合は、会員ログイン後のマイページあるいは「会員登録の変更」内の「変更オンライン登録」から「送付先」の変更を行い、メールで速やかに事務局に連絡すること。

2. 症例要約の総括

提出する症例要約において 1~3 に記載されている症例数を記載する。
記載する際は【記載上の注意】を参照すること。

3. 症例要約もしくは日本小児外科学会指導医認定証のコピー

- ◆症例要約に記載できるのは、入会年月から申請する年の 7 月 31 日までの経験症例である。
- ◆日本小児外科学会指導医資格を取得している場合は、**症例要約の提出は不要**。日本小児外科学会の指導医認定証のコピーを提出すること。
- ◆症例要約は原本とコピー 2 部、計 3 部を提出すること(片面印刷とする)
- 申請症例は 15 例とする

- (1) 症例として申請できるのは、術者、指導助手、第一助手、第二助手として担当した新生児外科手術症例。記載のない役割の症例は使用できない。

- (2) 新生児外科手術症例に該当するのは、生後 30 日までの期間に手術された症例とする。
- (3) 新生児外科手術症例は 10 例以上とし、残りの症例については経験症例であれば診断のみを行った非手術症例を記載することを認める。
- ※非手術症例:生後 30 日までに手術が実施されていない外科的症例**
- (4) 新生児領域のみ認定施設として承認されていて、母体・胎児領域が認定施設ではない場合は、新生児領域の経験症例を 15 例記載することを認める。母体・胎児領域が本会の認定施設の場合は、症例要約-2（出生前診断用）の症例を必ず 3 症例記載する。
- (5) 施設番号:記載する症例を経験した施設の施設番号(アルファベット 2 桁+数字 5 桁)を記載する。
新生児領域の認定施設:<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>
母体・胎児領域の認定施設:<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuB.aspx>
- (6) 転帰欄を選択するときは、転科は他科主科となり外科の治療は終了している場合、入院中は主科を問わず外科の治療を継続している場合に選択する。
- (7) 診断名・手術名:略語を用いず正式名称を使用し、最新の医学用語辞典、外科学用語集に準拠する。
- (8) 12 ポイントを使用し、すべての項目についての的確に記載すること。ページの追加は認めない。記載に不備がある場合は、不合格となることがある。

4. 指導医推薦状

※申請書を提出する時点で所属している施設の指導医の署名を得る。ただし、申請時に認定施設外の施設に所属している場合は、上長の署名とする。

※新生児症例用は新生児指導医に、出生前診断用は母体・胎児指導医の署名を得る。新生児領域のみ本会の認定施設で、15 例すべてが新生児症例用の場合は、母体・胎児指導医の推薦状は必要ない。

新生児指導医:<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShidoiS.aspx>

母体・胎児指導医:<http://www.jspnm.com/Senmoni/ShidoiB.aspx>

※申請者自身が指導医である場合、指導医推薦状は不要。

5. 取得単位集計表

※送付された参加証は返却しない

記載できるのは以下の条件を満たしている場合のみである。

- (1) 周産期・新生児学に関連するもの。
- (2) 申請する年の 3 年前の 7 月 1 日から申請する年の 7 月 31 日までの参加・発表。
- (3) 発表は筆頭演者としての発表のみ。
- (4) 査読の有無は申請者自身が確認する。

6. 学術集会参加記録簿

- (1) 必要な枚数をコピーして使用する。
- (2) 参加証は原則オリジナルの提出とするが、名前の記載がある場合(ネームプレート)はコピーでも可。
- (3) 学術集会での発表は、抄録のコピーを添付する。

7. 学術論文刊行記録簿

※単位として申請する場合のみ記載する。

- (1) 新生児外科領域に関連した論文に限る.
- (2) 査読の有無は申請者自身で確認する.
- (3) 論文の別刷(コピー可)を添付する.

【参考】申請時の学術業績

過去3年間の会員期間中の学術業績の合計が20単位以上、うち*の合計が10単位以上.

1. 10単位

- 1) 周産期・新生児学に関連した学術論文を査読制度のある雑誌に筆頭著者または corresponding author として発表し、それを認定外科医委員会が認めた場合*
- 2) 以下のいずれかへの学術集会への参加(筆頭演者としての発表があれば5単位を追加)
日本周産期・新生児医学会 学術集会*
日本周産期・新生児医学会 周産期学シンポジウム*

2. 研修単位5単位/回

以下のいずれかの学術集会への参加(新生児外科領域の筆頭演者としての発表があれば5単位を追加)

- 日本産科婦人科学会*
- 日本小児科学会*
- 日本小児外科学会*
- 日本新生児成育医学会
- 日本麻酔科学会
- 日本母体胎児医学会

3. 論文単位5単位/回

査読のない論文であっても、認定外科医委員会が認めた総論や著書の場合.

【書類の送付先・問合せ先】

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-30 日本周産期・新生児医学会事務局
認定外科医申請担当宛 【認定外科医申請書類在中】

E-mail: senmoni@jspnm.org

原則として電話での問合せには応じない。

【その他参考資料】

1. 症例要約記載例

1) 症例要約-1 (新生児症例用)

※新生児外科手術症例(生後 30 日までの期間に手術された症例)を 10 例以上記載すること

症例番号 1	施設番号	NA00000
西暦 2015 年 2 月生	男・女	在胎 26 週 3 日 出生体重 820 g
診断名	診断名:特発性小腸穿孔 出生前診断:有・無	
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入	手術時日齢:6 術式名:小腸部分切除術 手術時の役割:術者 指導助手 第一助手 第二助手 どれか 1 つ選んで○を付ける	
転 帰*	生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他	
家族歴	特記事項なし どれか 1 つ選んで○を付ける	
妊娠分娩経過	母 35 歳、1G1P。胎児仮死にて在胎 26 週 3 日に緊急帝王切開となった。 Apgar 3/7。	

【現病歴】:胎児仮死のため緊急帝王切開で出生し、前医NICU入院。新生児呼吸窮迫症候群の診断でサーファクタントを使用した。動脈管は自然閉鎖を確認した。

日齢3日より母乳を開始したが、日齢6に腹部膨満、腹壁色調不良、腹腔内遊離ガスを認め、同日当院NICUへ搬送となった。

日齢、月齢は日不要。正しくは日齢 3

【診察所見】:腹部は著明に膨満し、腹壁の色調は暗緑色を呈していた。

【診断の根拠となった検査所見】:

胸腹部 X 線:腹腔内遊離ガスを認めた
腹部超音波検査:混濁した腹水の貯留あり

【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】:全身状態は保たれていたため、搬送同日(日齢6)に手術を施行した。上腹部横切開にて開腹すると、混濁した腹水を認めた。回腸末端から約5cm口側の部位に径8mm大の穿孔を1カ所認め、特発性小腸穿孔と診断された。一期的吻合の方針とし、穿孔部を切除後、端々吻合を行った。

【入院後経過と考察】:日齢10より経腸栄養を開始し、順調にミルクアップ可能であった。また、超低出生体重児ではあるが、周術期の状態は安定しており頭蓋内出血などの合併症を認めず、術後経過は良好であった。

- すべての項目を 12 ポイントで記載する
- 具体的な病院名・施設名の記載はしない
- 誤字・脱字がないか確認する
- 略語を多用せず、初出時は略語のみではなくフルスペルを記載する

*:入院中:主科を問わず外科の治療を継続している

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<https://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuS.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

新生児領域の施設番号は、下記 URL で確認する

2) 症例要約-2 (出生前診断用)

症例番号 1		施設番号	PA00000
西暦 2016 年 11 月生	男・女	在胎 36 週 6 日	出生体重 3902 g
診断名	診断名: 仙尾部奇形腫 出生前診断: 有・無		
新生児期の手術 ※手術した場合のみ、複数回 手術時は代表的な 1 件を記入	手術時日齢: 1 術式名: 仙尾部腫瘍摘出術 手術時の役割: 術者・ 指導助手 ・第一助手・第二助手		
転 帰*	生存退院 死亡退院 転院・転科 入院中 その他		
家族歴	特記事項なし		
妊娠分娩経過	妊娠 35 週 2 日に胎児超音波検査で異常を指摘され、当院産科紹介。胎児 MRI で仙尾部奇形腫と診断され、予定帝王切開による娩出の方針となった。		
<p>【現病歴】: 在胎36週6日に予定帝王切開にて出生。出生直後に気管内挿管を行い、腫瘍を保護して NICU 入院となった。</p> <p>【診察所見】: 外表所見に異常を認めず。腹部は平坦・軟。臀部に児頭大の腫瘍を認めた。</p> <p>【診断の根拠となった検査所見】: 胸腹部 X 線: 胸腹部に異常なし。腫瘍内に石灰化病変を認めた。 超音波検査: 先天性心疾患なし。腹部に異常所見なし。仙尾部腫瘍内は嚢胞性成分が 7 割を占め、残りの 3 割に充実性成分を認めた。Altman 1 型と診断した。</p> <p>【上記手術所見の詳細(手術した場合のみ)】: 全身状態は安定しており、日齢1に手術を施行した。出血予防として、開腹下に正中仙骨動脈の結紮を先行して行い、臀部より腫瘍を摘出した。出血量は20g、腫瘍は重量1200gであった。</p> <p>【入院後経過と考察】: 病理診断は成熟奇形腫で、術後経過良好にて日齢30に退院となった。術後に排便障害、排尿障害、下肢の運動障害は認めず、AFPにて再発モニタリングを行った。出生前診断例であり、産科、新生児科、小児外科、麻酔科、および各病棟看護師など関係する多職種合同で症例検討を行い、周産期・周術期に十分な準備を行って臨むことができた。</p>			

*: 入院中: 主科を問わず外科の治療を継続している 転科: 他科主科となり外科の治療は終了している。

※所属している施設が、本会の専門医制度で母体・胎児領域の研修施設の場合は、症例要約-2 (出生前診断用) の症例を必ず 3 症例記載する。

【記載上の注意】

1. 施設番号は記載する症例を経験した施設の番号を学会 HP の以下の URL で確認して記載する。

<https://www.jspnm.com/Senmoni/ShisetsuB.aspx>

2. 現病歴から考察までを枠内に記載し、全体を 1 ページ以内に収める(ページ追加は不可)。

母体・胎児領域の施設番号は、下記 URL で確認する

2. 学術集会参加記録簿の記入例

参加日 (西暦)	学術集会出席証明書貼付	必須単位	その他の 単位
基本形 2017.7.15	第〇〇回 日本周産期・新生児医学会学術集会 第〇〇回 日本周産期・新生児医学会 学術集会 10 単位	参加 10	
参加証がない場合 2017.7.15	第〇〇回 日本周産期・新生児医学会学術集会 第〇〇回 日本周産期・新生児医学会 学術集会 所属 〇〇〇病院 氏名 周産期 花子		
参加＋発表 の場合 2017.7.15	第〇〇回 日本周産期・新生児医学会学術集会 ・発表の単位申請を行う場合は、抄録のコピーを添付する ※コピーした抄録に学会名や回数がない場合は、手書きで追記をするなど、どの学 術集会の抄録か判断がつくようにする ・参加証がない場合でも発表していれば抄録のコピーのみ提出で証明可 ※参加及び発表の両単位の証明となる	参加 10 発表 5	
添付出来る 証明書が 全てない 場合 2017.7.15	第〇〇回 日本周産期・新生児医学会学術集会 日本 一郎	参加 10	

【必須単位】と【その他の単位】では記載枠が異なる

・参加した学会または研究会の参加証を貼付する。
 ・参加証が A4 サイズの場合は貼付せず『学術集会参加記録簿』には参加日や学会名のみ記載し、(別添)とする。

参加証がない場合は
 ネームプレートのコピーでも可
 【参考:ネームプレートとは】
 『学術集会名』『お名前』が記載されていて、学術集会に現地参加した際に首から下げていたものを指します。

参加証もしくはネームプレートがない場合は
 上席者の署名が必要
 ※上席者の所属科・学会在籍の有無は問わない
 ※複数の学会参加を上席者の署名一つで証明することはできない(一証明につき一署名)
 ※参加したことを上長の責任下で申請する

※『学術集会参加記録簿』が1枚で足りない場合は、複数枚提出しても構わない
 (おおよそ40単位を上限とする)

3. 学術集会やシンポジウムの参加単位証明について

●現地参加のみの場合

所属先・お名前の記載された部分と
大会長の印がある部分を参加証明とみなします

出願書類/更新書類内の参加証明欄へ
参加証（参考左図）を貼り付ける

●web参加のみの場合

お名前・所属先の記載された
学会参加証明証（A4 サイズ）の印刷

↓
出願書類の学会または研究会の参加証明に
タイトル（学術集会名）の記載と
A4 の証明書(参考左図)を別紙として添える

●現地参加およびweb参加 両方の場合 上記どちらの証明方法でも可

4. 会員登録の変更_マイページからの変更手順①

会員番号: *

パスワード: *

※既定パスワードは生年月日（西暦で8桁）
例：1980年1月23日→19800123
※初回ログイン時にはパスワードの変更を推奨します

会員の方へ ▶ ログイン

**会員番号・パスワードでログイン
(パスワードを変更していない場合は、生年月日を8桁)**

● 事務局からのお知らせ

- 2024/10/08 会員専用情報に「NICUに入院している新生児の痛みのケアガイドライン第3版」のパブリックコメント募集を掲載しました
- 2024/04/01 新しい専門医制度について 現時点での情報を公開しています
- 2023/10/20 各種、登録情報の変更や、研修に関する届出はスマートフォン・タブレットでの画面遷移に対応しておりません。パソコンでの操作をお試しいただけますようお願いいたします。
- 2023/04/26 研修開始届 登録の際は必ずご確認ください
- 2022/03/18 周産期専門医研修中の方へ オンライン登録方法について
- 2022/03/17 退会ボタンを押しても反応しない場合、下記の「ポップアップブロック解除方法について」をご覧ください
- 2021/03/29 マイページのご案内 会員の方から寄せられるご質問を基に、マイページのご案内をまとめました
- 2020/09/25 画面が遷移しない場合、こちらをご確認ください。ポップアップブロックの解除方法について
- 2017/04/18 マイページを開いたしました

最新の状態に更新する

■ 個人情報

会員番号	入会年月日	会員の種類	専門領域	生年月日
7654321	2017/04/01	会員	産婦人科	1988/08/08

送付先	勤務先
勤務先	勤務先

退会届登録日
2019/03/07


※退会届登録日に日付が入力されている場合、退会手続きは済んでいます。
※生年月日未登録の場合は「1900/01/01」と表示しています。「登録情報の確認・変更」から生年月日を登録してください

登録情報の確認・変更


勤務先、自宅住所、メールアドレスの登録を変更する場合に使用する

- ※「会員登録の変更」からも変更できる
- ※スマートフォン・タブレットでの画面遷移は対応していない
- ※メールアドレスは問合せ等に使用するので、必ず使用できるものを登録する

5. 会員登録の変更_マイページからの変更手順②



一般社団法人 日本周産期・新生児医学会
JSPNM Japan Society of Perinatal and Neonatal Medicine



こんにちは、
周産 太郎 先生

パスワード変更 | ログアウト

マイページ

会員専用情報

会員登録の変更

専門医制度(ワライ登録)

議事録・報告

周産期学シンポジウム

学会誌(電子投稿)・刊行物

e-Learning

メール配信サービス

登録手順はこちら

大規模災害対策
情報システム
会員専用

【事務局連絡先】
〒162-0045
東京都新宿区市谷本村町2-30
(株)ベカルビュー社内
日本周産期・新生児医学会事務局
TEL: 03-5228-2074
FAX: 03-5228-2104

周産 太郎 先生のマイページ

事務局からのお知らせ

- 2024/10/08 会員専用情報に「NICUに入院している新生児の痛みのケアガイドライン第3版」のパブリックコメント募集を掲載しました
- 2024/04/01 新しい専門医制度について 現時点での情報を公開しています
- 2023/10/20 各種、登録情報の変更や、研修に関する届出はスマートフォン・タブレットでの画面遷移に対応しておりません。パソコンでの操作をお試しいただけますようお願いいたします。
- 2023/04/26 研修開始届 を登録の際は必ずご一読ください
- 2022/03/18 周産期専門医研修の方へ オンライン登録方法について
- 2022/03/17 退会ボタンを押しても反応しない場合、下記の「ポップアップブロック解除方法について」をご覧ください
- 2021/03/29 マイページのご案内 会員の方から寄せられるご質問を基に、マイページのご案内をまとめました
- 2020/09/25 画面が遷移しない場合、こちらをご確認ください。ポップアップブロックの解除方法について
- 2017/04/18 マイページを開読いたしました

最新の状態に更新する

個人情報

会員番号	入会年月日	会員の種類	専門医種別	生年月日
7854921	2017/04/01	会員		

送付先	勤務先
勤務先	勤務先

※退会届登録日に日付が入力されている場合、退会手続きは生年月日未登録の場合は「1900/01/01」と表示しています。生年月日を登録してください

登録情報の確認・変更

メールアドレス

メールアドレス	メール配信
①	希望する
②	希望する

メール配信サービスの確認・変更

※学会からの重要なお知らせはメール配信を希望していない会員にもお送りいたします

※青字部分の変更はできません

会費

会費支払方法	領収書	2025年入金状況	2024年入金状況	2023年入金状況
郵便振替	不要	未入金	入金済	入金済

※入会前の年度は空欄になっています
年会費口座振替依頼書はこちら

評議員出欠

役員種別	前回総会	前々回総会
評議員	出席	欠席

※正当な理由なく定時総会を2回とも欠席したとき、次回の評議員選挙の候補者となる資格を失います

専門医関連

研修開始認定日	研修番号	現況	専門医認定最終更新日	専門医登録番号	初回専門医取得日
2015/04/01	N01234	研修終了	2016/04/01	0135	

※現況が「研修中(見込)」の場合は、研修開始認定日から1年以上経過した場合は、基本学会の専門医認定証のコピーを事務局までお送りください

ここから勤務先、自宅、メールアドレス等の情報確認・変更可

- ・メールアドレスは最大2種類まで登録可
- ・『メール配信』を『希望する』で、学会からの情報が配信される
- ※重要メールは『希望しない』アドレスにも送られる

メールアドレスの変更や、メール配信希望の変更はここから変更可

専門医登録番号・取得年はここで確認できる

6. Word を使用した申請書作成時 「ヘッダーの入力方法」について

毎年多くの入力忘れの方が見られます。以下を参考にして、必ずご入力をお願いいたします。

ヘッダーとは

Word で本文の上部余白部分を「ヘッダー」と呼びます。
申請書類では、右上の『申請者名』を入力する時に使用します。

一度入力すると、全ページに反映されます

2025 年度 母体・胎児専門医資格更新 申請者名 ()

1. 母体・胎児専門医資格更新認定申請書

一般社団法人 日本周産期・新生児医学会 受理年月日 年 月 日(事務局記載)
理事長 殿

編集方法①

※画面は一例です。お使いの環境によって表示が異なる場合がございます。

①ヘッダー(下図色付き部分)をダブルクリック

2025 年度 母体・胎児専門医資格更新 申請者名 ()

1. 母体・胎児専門医資格更新認定申請書

一般社団法人 日本周産期・新生児医学会 受理年月日 年 月 日(事務局記載)
理事長 殿

②ヘッダーの文字が灰色から黒色に変化したら、自分の名前を入力

2025 年度 母体・胎児専門医資格更新 申請者名 (周産 太郎)

ヘッダー -セクション 2- 胎児専門医資格更新認定申請書

一般社団法人 日本周産期・新生児医学会 受理年月日 年 月 日(事務局記載)
理事長 殿

③ヘッダー(下図色付き部分)以外の本文をダブルクリックし、本文中の編集に戻る

2025 年度 母体・胎児専門医資格更新 申請者名 (周産 太郎)

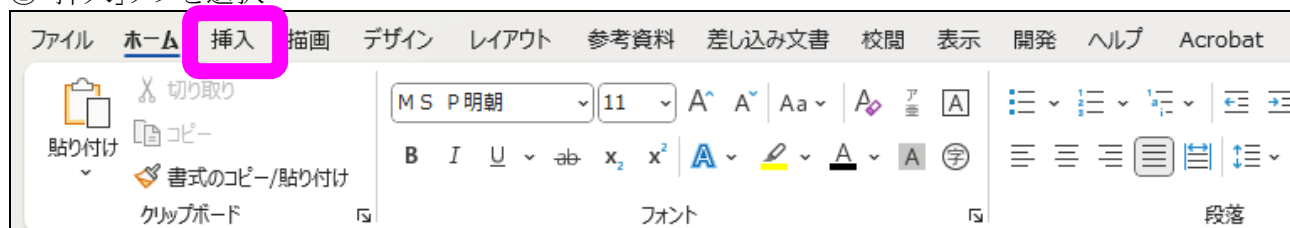
1. 母体・胎児専門医資格更新認定申請書

一般社団法人 日本周産期・新生児医学会 受理年月日 年 月 日(事務局記載)
理事長 殿

編集方法②

※画面は一例です。お使いの環境によって表示が異なる場合がございます。

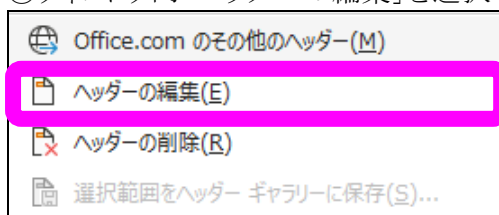
①「挿入」タブを選択



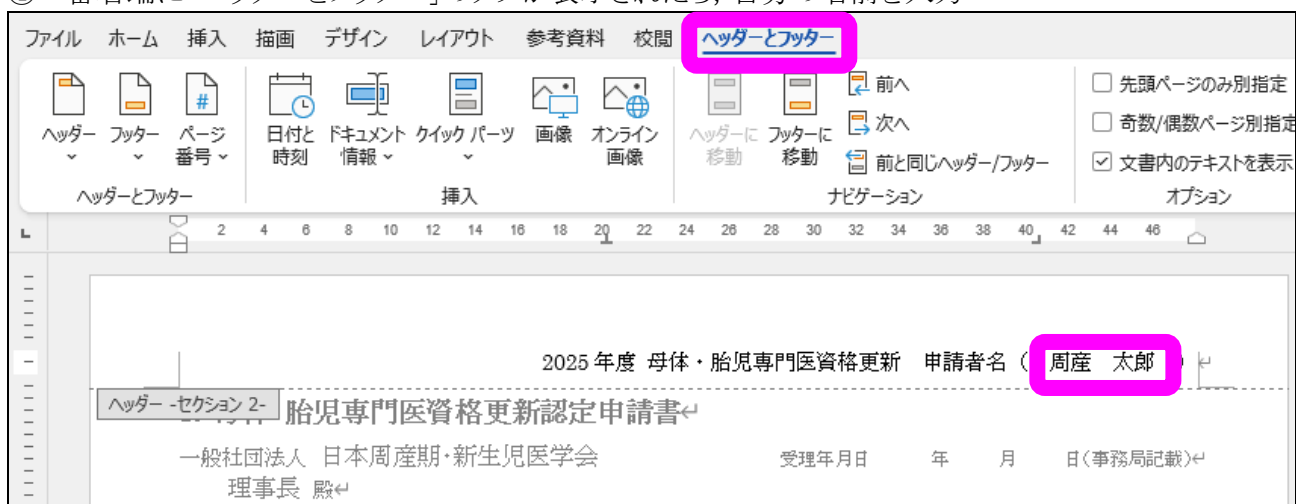
②「ヘッダーとフッター」グループから「ヘッダー」を選択



③ウィンドウ内「ヘッダーの編集」を選択



④一番右端に「ヘッダーとフッター」のタブが表示されたら、自分の名前を入力



⑤「ヘッダーとフッターを閉じる」を選択し、本文中の編集に戻る

